

様式1		令和2年度 清瀬市立 清瀬第二中学校		学校評価計画	
学校の教育目標		愛情 より豊かな 心をつちかう 学力 より深く 自ら学ぶ 勤労 よりよくはたらき 責任をはたす 健康 よりたくましく 心身をきたえる		育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動	
目指す学校像(ビジョン)		「笑顔とあいさつ そして ありがとう」があふれる学校 「自分で考えて行動する力」を持つ生徒 「生徒が主役であることを大切にし、感謝を忘れず、教師であることを誇りに思う教員」		<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学び続ける力・人間性の育成 ・ふるさと清瀬を誇りにし、持続発展の主体となる力 ・生きて働く知識・技能の育成 ・考える力、判断する力、表現する力 ・育てたい4つの心「感謝する心」「自他の発言、意見を大切に する心」「共に学ぶ心」「社会の中で活きている意識」 ・学校支援本部との連携 	
前年度までの学校経営上の成果と課題		<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上において、各教科授業における帯活動は意識付けられているが、二中スタンダードについては、さらなる向上が必要である。 ・校内見回り等でいじめの早期発見につながり減少したが、不登校生徒の減少にはいたらなかった。外部機関等と連携してのさらなる取組が必要である。 ・学校からの情報発信が少なかったようであり、学校だより、学年だより、ホームページ等のさらなる活用が必要である。 			
柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
確かな学力の向上	授業の質的充実を図り、共に学ぶ心を育てる。	学校で共通した授業スタイル(二中スタンダード)に基づいた授業実践を行い、学びに向かう姿勢や考え抜く力、学びを活用、表現できる能力を育てる。 基礎基本的な学力の定着を図り、個々の能力を伸ばす。 各教科小テスト、コンテストなど行い、基礎基本の定着を目指した帯活動を取り入れる。また、家庭学習やICTを利用した授業を試み	授業の課題解決のために考える時間をとり、話し合い活動を通して、自分が学んだことを活用、表現する場面を設ける。 各教科小テスト、コンテストなど行い、基礎基本の定着を目指した帯活動を取り入れる。また、家庭学習やICTを利用した授業を試み	4 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが90%以上	4 生徒の評価が4段階評価でA・Bが90%以上
				3 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが80%以上	3 生徒の評価が4段階評価でA・Bが80%以上
				2 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが60%以上	2 生徒の評価が4段階評価でA・Bが50%以上
				1 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが60%未満	1 生徒の評価が4段階評価でA・Bが50%未満
豊かな心の育成	自己実現を図る指導を図り、自他を大切にすることを育てる 行事や学級活動において生徒が主体的に取組ませ達成感を味わわせ、自己肯定感や自尊感情を高める。 いじめがなく、生徒一人一人が大切にされる学級作りを目指し、不登校生徒〇を目指す。	学校行事や学年行事、学級活動、委員会活動、さらに授業展開において、生徒が主体的になるような指導を意識し、計画する いじめ調査や学級環境適応尺度調査を実施して、学級経営や面談に活用する。	4 教職員の取り組み評価がA・Bが90%以上 3 教職員の取り組み評価がA・Bが80%以上 2 教職員の取り組み評価がA・Bが60%以上 1 教職員の取り組み評価がA・Bが60%未満	4 東京都学力向上を図るための調査においてD層25%未満 3 bgh 2 実施率50%以上 1 実施率50%未満	4 生徒の評価が4段階評価でA・Bが90%以上
					3 生徒の評価が4段階評価でA・Bが80%以上
					2 生徒の評価が4段階評価でA・Bが50%以上
					1 生徒の評価が4段階評価でA・Bが50%未満
健やかな体の育成	運動を楽しみ、食を意識して、健康的に生活することへの関心や意欲を高める。 自分の生活リズムを見つめ、また食育を推進して、健康的に生活する大切さを身につける	体育の授業や運動的行事、部活動さらには地域の体育的活動に積極的に参加する。 栄養士と協力した栄養に関する授業や食育に関する情報を発信する、また自分の生活を見つめる活動を実施する。	部活動では、技術向上に繋がる外部指導員の活用をする。部活動、地域クラブへの参加により運動習慣と体力向上を図る。 栄養士と協力した栄養に関する授業や食育に関する情報を発信する、また自分の生活を見つめる活動を実施する。	4 教職員の取り組み評価がA	4 生徒の評価が4段階評価でA・Bが90%以上
				3 教職員の取り組み評価がB	3 生徒の評価が4段階評価でA・Bが80%以上
				2 教職員の取り組み評価がC	2 生徒の評価が4段階評価でA・Bが50%以上
				1 教職員の取り組み評価がD	1 生徒の評価が4段階評価でA・Bが50%未満
特別支援教育の充実	特別な支援を必要とする生徒への支援の充実 特別な支援教育に関する教員の意識や知識等を高める	特別な支援を必要とする生徒の理解と支援の方策についての情報の共有 ユニバーサルデザインの見地を取り入れ、ICTを活用するなどの学習方法や学習環境の取組を試みる	4 実施率90%以上 3 実施率80%以上 2 実施率50%以上 1 実施率50%未満	4 全教科での実施 3 実施率80%以上 2 実施率50%以上 1 実施率50%未満	4 教職員の達成度の評価A
					3 教職員の達成度の評価B
					2 教職員の達成度の評価C
					1 教職員の達成度の評価D
本校の特色	開かれた学校と家庭・地域との連携 学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。	学校支援本部とう連携を図り、様々な活動を試み、また外部の人材を活用する。 学生や保護者・地域の方のボランティア活動を実施する。	4 地域の人材活用の取組を年5回以上実施 3 地域の人材活用の取組を年4回実施 2 地域の人材活用の取組を年3回実施 1 地域の人材活用の取組を年2回実施	4 学校・学年便り発行計60号以上、HPの更新毎週2回以上 3 学校・学年便り発行計50号以上、HPの更新毎週1回以上 2 学校・学年便り発行計40号以上、HPの更新隔週1回以上 1 学校・学年便り発行計40号以下、HPの更新隔週1回以下	4 保護者の評価が4段階評価でA・Bが90%以上
					3 保護者の評価が4段階評価でA・Bが80%以上
					2 保護者の評価が4段階評価でA・Bが50%以上
					1 保護者の評価が4段階評価でA・Bが50%未満